

平成 20 年 7 月

株式会社福岡中央銀行

地域密着型金融の取組み状況について

株式会社 福岡中央銀行（頭取 田中 克佳）は、平成 19 年度から平成 20 年度における「地域密着型金融の推進に向けた取組み」として、当行が策定しておりました地域密着型金融に関する基本方針とそれに係る具体的取組みについて、平成 19 年 4 月から平成 20 年 3 月までの取組状況を別添のとおり取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

本件に関するお問い合わせ先 総合企画部 星熊 TEL 092-751-4429

地域密着型金融の取組み状況について
(平成19年4月～平成20年3月)

平成20年7月



【地域密着型金融の取組み状況について(平成19年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成19年4月～平成20年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	
(1) 外部機関との連携による創業・新事業支援の強化	
① 福岡県中小企業振興センター、中小企業金融公庫、日本政策投資銀行等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域における新規創業や中小企業の技術開発および新事業の展開を支援するため外部機関と連携し、諸施策を実施しました。 ▶ 具体的には、営業店での渉外活動の他、本店に設置しているお客様相談センターや融資相談センターでの相談受付等を通じて、創業や新事業に取り組む各企業のニーズを把握し、中小企業庁の諸制度や福岡県中小企業振興センターを紹介するなど、お取引先企業への支援を図りました。 ▶ また具体的に資金が必要なお取引先については、従来より業務連携等の提携を行っている中小企業金融公庫や国民生活金融公庫および日本政策投資銀行に融資の取り次ぎ等を行った他、当行での融資取り組みとして、福岡県信用保証協会の創業関連保証融資や経営革新関連保証融資等の制度融資に積極的に取り組みました。 <p style="text-align: center;">【平成19年度の創業・新規事業関連制度融資取扱実績】 42件／242百万円</p>
(2) 経営支援対象先の選定による経営改善支援・事業再生の強化	
① 半期ごとに経営支援対象先を選定し、経営改善支援や事業再生に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 每期期初に経営支援対象先について全店ヒアリングを実施し、中小企業再生支援に向けて個社別に再生手法の検討を行い、事業の再構築に関する指導や助言等を積極的に行い経営改善、事業再生支援に取り組みました。 <p>その結果、平成19年4月から平成20年3月までに累計で101先の経営支援を図り、うち4先(4.0%)がランクアップしました。</p>
② 福岡県中小企業再生支援協議会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 経営環境が悪化しつつある取引先企業に対し、きめ細かな事業再生を支援するため、福岡県中小企業再生支援協議会と連携し経営改善計画の策定およびフォローアップの支援に取り組みました。 <p style="text-align: center;">【平成19年度の福岡県中小企業再生支援協議会の活用実績】 4先／与信総額327百万円</p> <p>【取り組み事例】 折からの原油高騰に伴う資材価格の上昇で資金繰りが厳しい状況で事業再生に取り組んでいた地元中小企業に対し、福岡県中小企業再生支援協議会との連携により、当社が必要とする運転資金等55百万円を当行、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫の3行にて協調融資を実行しました。各融資対応金額は当行35百万円(福岡県緊急経済対策資金、信用保証協会付保)(うち県外他行2行分旧債決済資金16百万円、運転資金19百万円)、中小金融公庫10百万円(運転資金)、国民生活金融公庫(運転資金)10百万円で、これにより39百万円の運転資金が調達できたとともに、県外他行2行分の借入金を当行に集約したことで毎月の約定返済金2,533千円を733千円に軽減することができました。</p>

【地域密着型金融の取組み状況について(平成19年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成19年4月～平成20年3月)
<p>(3) 外部機関との連携による事業承継の強化</p> <p>① ㈱日本M&Aセンター、㈱レコフ等との連携</p>	<p>▶ 外部機関と連携を取りながら中小企業の円滑な事業承継の支援に取り組みました。事業承継のニーズを把握するため「お客様サービスセンター」で情報を定期的に集約、整理するとともに、M&A組成に関する個別の情報等を希望のお取引先へフィードバックしました。また、M&Aに係るアドバイザー契約を締結した先については、提携会社と連携しながらフォローを実施しています。</p>
<p>(4) 行内及び外部研修による目利き能力の向上</p>	<p>▶ 行内研修として、「融資上級研修」に延べ74名、「融資中級研修」に20名、「融資初級研修」に延べ26名、計120名が参加し目利き能力の向上に努めました。</p> <p>▶ 行外研修として、第二地方銀行協会主催の「債権管理回収基本講座」に2名、「金融ビジネス研究講座」に3名、「融資渉外スキルアップ研修」に12名、計17名を派遣し目利き能力の向上に努めました。</p>
<p>2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p>	
<p>(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の強化</p>	
<p>① スコアリングモデルを活用した融資の推進</p>	<p>▶ 平成15年7月から取り扱いを開始した無担保・無保証人でのスコアリング融資商品「事業応援ローン」、平成17年5月に商品内容の見直しを行った「スーパー事業応援ローン」、平成18年11月に借入限度額の拡大等の商品改良を行った「事業応援ローンワイド」を積極的に推進しました。</p> <p>【平成19年度の取扱実績(3種類合計)】 1,652件/13,513百万円 ※別紙「個人保証に過度に依存しない融資に向けた取組み実績」参照</p>
<p>② 動産・債権譲渡担保融資への取組み</p>	<p>▶ 当行とお取引のある中小企業の約4割は製造・建設・運輸業であったことから、その主要資産である営業車両や機械設備を担保とすることで、不動産を持たない中小企業に対しても新たな資金提供手段としてニーズに応じていくことを目的に、トラック・バス・特殊自動車等を担保にした「福中銀トラック担保ローン」と、工作機械・印刷機械・建設機械等を担保とした「福中銀動産担保ローン」の商品化を図りました。</p> <p>本商品は平成20年2月から取り扱いを開始し、これにより、不動産を持たないお取引先の幅広い資金ニーズにお応えしております。</p> <p>【平成19年度の取扱実績(2種類合計)】 3件/86百万円 ※別紙「個人保証に過度に依存しない融資に向けた取組み実績」参照</p> <p>▶ また、売掛債権担保融資にも取り組み、お取引先の資金調達方法の選択肢の拡大に努めています。</p> <p>【平成19年度の取扱実績】 50件/385百万円 ※別紙「個人保証に過度に依存しない融資に向けた取組み実績」参照</p>
<p>③ シンジケートローンの活用</p>	<p>▶ 福岡県内企業の資金ニーズや福岡県の経済発展に寄与する資金ニーズにお応えしていくための融資手法としてシンジケートローンに取り組んでいます。また、シンジケートローンの受付窓口を営業統括部に集中し効率的な対応を行っています。</p>

【地域密着型金融の取組み状況について(平成19年度)】

取組み項目	具体的な取組み状況(平成19年4月～平成20年3月)
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	
(1) 取引先への営業情報やビジネスマッチングの機会提供	
① ふくちゅうぎん経営塾21WEB倶楽部の活用	<p>▶「ふくちゅうぎん経営者倶楽部」経営塾21「WEB倶楽部」の活動を通じて、経営ノウハウの提供・会員企業の発展・地域社会の発展を目的として、講演会の開催、無料経営相談の実施、経営情報の提供やビジネスマッチング等に取り組みました。</p> <p>経営情報やビジネスマッチングの情報提供として、経営コンサルタント会社の㈱タナベ経営と提携し、インターネットやダイレクトメールで、日常の経営実務に役立ちビジネスチャンスに直結する情報を会員に発信しています。</p> <p>【平成19年度の具体的な取組事項】</p> <p>①インターネットによる情報提供(16コンテンツ)</p> <p>②リーダーズ・レポート発行(12回)</p> <p>③マネジメントレター発行(48回)</p> <p>④経営レポート提供</p> <p>⑤eラーニング(6講座)</p> <p>⑥セミナーの動画配信(20種類)</p> <p>⑥本店「ふれあいプラザ」に設置の”融資相談センター””お客様サービスセンター””保険・投信窓販センター”における無料経営相談</p> <p>⑦地場企業オーナーを講師とした講演会開催(1回、参加会員52名)</p>
② 九州金融情報ネットワーク(QFネット)の活用	<p>▶九州金融情報ネットワーク(QFネット)とは、平成16年11月に九州地区の第二地方銀行7行で立ち上げたネットワークであり、各行が持つ「ビジネス情報」を共有しております。この「九州金融情報ネットワーク(QFネット)」を活用し、お取引先企業へ幅広い情報の提供を行いました。</p>
③ 福中銀ビジネス情報交換制度(ビジネスサポートナビ)の活用	<p>▶福中銀ビジネス情報交換制度(通称ビジネスサポートナビ)とは、営業活動の中で各店が把握したお取引先の様々なビジネス情報について、行内イントラを活用して情報集積し、それを僚店間で共有する制度です。この制度の活用し、お取引先のM&Aニーズや不動産ニーズの他各種の営業ニーズに応じたビジネス情報をタイムリーに提供して、ビジネスマッチングの機会を提供しました。</p>
(2) 店舗リニューアル、バリアフリー設備の充実	<p>▶平成19年中は戸畑支店、黒崎支店の2店舗をリニューアルしました。今後も店舗の建替やリニューアル等を随時行い、お客様に心地よく便利にご利用いただける店舗づくりに努めてまいります。</p>
(3) 地域内行事への積極的な参加	<p>▶博多祇園山笠、田川炭坑節まつり、大牟田大蛇山まつり等各地域の祭りへの参加や博多どんたく松囃子のお出迎え等、本店・支店ともに地域内行事へ積極的に参加しております。</p>
(4) 資産運用セミナーの実施	<p>▶平成20年3月に、野村證券(株)より講師を迎え「2008年の景気・株式・金利・為替の見通し」と題した資産運用セミナーを実施し、50名の参加で「大変わかりやすい」等、好評を得ました。</p>

【個人保証に過度に依存しない融資に向けた取組み実績】

	年間取扱高実績	決算期末残高
	平成19年4月～平成20年3月	平成19年度(平成20年3月末)
スコアリングモデルを活用した融資	1,652件 13,513百万円	4,073件 22,874百万円
うち中小企業向け	1,652件 13,513百万円	4,073件 22,874百万円
動産・債権譲渡担保融資	53件 471百万円	9件 114百万円
うち中小企業向け	53件 471百万円	9件 114百万円
財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への融資	28件 131百万円	47件 157百万円
うち中小企業向け	28件 131百万円	47件 157百万円
個人保証に過度に依存しない融資合計	1,733件 14,115百万円	4,129件 23,145百万円
うち中小企業向け	1,733件 14,115百万円	4,129件 23,145百万円

- (注1)「スコアリングモデルを活用した融資」は担保・保証人を必要としない商品である「事業応援ローン」が主なものとなっております。
(注2)「動産・債権譲渡担保融資」はトラック・機械等の動産及び売掛債権を担保とした融資が主なものとなっております。
(注3)「財務諸表の精度が相対的に高い中小企業への融資」はTKCとの連携による融資が主なものとなっております。
(注4)「うち中小企業向け」は中小企業基本法(第2条第1項)の定義に該当する事業所に対して行った融資を計上しております。